

材料理工学コース

履修の仕方と成績評価

1. 一般的注意

履修する際に留意しなければならないことは非常に多いが、少なくとも以下の点については、学生間の情報に頼らず、自分で確認、実行する必要がある。

- ① 開講科目、開講時期は各年度によって異なることがある。また、卒業要件は入学年度によって変わる場合がある。
- ② 履修科目を選択する際には、進級・卒業要件をまず頭に入れ、各学年における選択・必修科目、必修科目、コース必修科目を見落とさない。
- ③ 履修予定の科目の内容、進め方、評価法などの科目の重要情報はシラバスでよく調べる。
- ④ 学期のはじめには必ず時間割表を作成し、進級要件、卒業要件を満たすことができるように履修計画を立てる。
- ⑤ 成績表が返されたら、計画通りに単位が取得できているかを確認し、つぎの学期の履修計画を立てる。

2. 専門科目のシラバスの見方（シラバスは **a・net**（*）で閲覧する）

シラバスには、それぞれの専門科目ごとに、

- ① 開講期日・学年
- ② 担当教員・連絡先
- ③ 講義室
- ④ オフィスアワー（講義時間外で教員と面談できる時間）
- ⑤ 目的・概要
- ⑥ コースの学習・教育到達目標との対応
- ⑦ 達成目標（成績評価と密接に関連）
- ⑧ カリキュラム上の位置づけ
- ⑨ 授業の進行予定と進め方
- ⑩ 授業時間外の学習内容等
- ⑪ 成績評価の具体的方法
- ⑫ 教科書・参考書

について詳しく記載されている。中でも、⑥、⑦、⑨、⑪は重要であるので、よく熟知しておく必要がある。

学生諸君は、個々の科目の受講にあたってシラバスの記載内容に疑問があるときには、必ず担当の教員に質問し、記載内容をよく理解して科目の学習に臨むべきである。なお、各学科・コースで共通の講座外科目および教養教育科目のシラバスについても **a・net** 上

で公開されている。

* *a・net* : 秋田大学総合学務支援システム

3. 履修の計画と単位取得の確認

学期が始まると、受講したい科目の履修届を提出し、受講が始まる。しかし、この前に進級・卒業条件満たすことができることを前提とした履修計画を立てておく必要がある。そのためには、**時間割表を必ず作成する。作成には、この冊子の巻末にある空白の時間割表を切り離して用いる。**時間割表の上段には科目名、下段には教室、教員名、必修、試験日などの注意すべき事項を書く。上段の科目名と下段は色を変えて書き、互いによく識別できるようにするとよい。

新学期が始まると、ガイダンスがあり、前の学期までの成績表が手渡される。この時、成績に疑念があれば、必ずコース長に申し出る。成績表に基づいて、**巻末に添付した単位取得状況点検表の中に成績を記載し、進級・卒業条件を満足する方向で学修が進行しているか、確認する。**時間割表、成績表、単位取得状況点検表は 1 つのファイルにして保管しておく。

各講義科目の単位を取得するためには、4/5 以上の出席を必要とする。やむを得ぬ理由で欠席した場合、2/3 以上出席した者については不足時間分の**学習レポート**の提出が求められる。

4. 専門科目の成績評価

材料理工学コースの専門科目の成績評価方法と基準は、シラバス (*a・net* で閲覧できる) に詳しく記載されている。シラバスに記載されていない基準で評価することはない。所定の学習時間を満足していない、必要な提出物 (レポート、卒業課題研究論文など) を提出していない、あるいは所定の試験を受けていないなどの不備があれば、成績評価の対象者とはならない。

1 つの科目には 5 つの達成目標 (材料理工学実験 I, II, III, および材料理工学演習は 4 つ) があげられている。単位を取得するためには 5 つの達成目標すべてにおいて 60% 以上の評価を得なければならない。成績評価は、すべての達成目標の達成率を平均して総達成率による。専門教育の評価は、S~D 評価で行われる。D 評価は不合格である。総達成率と評価の関係は次のとおりである。

(総達成率)

90% 以上	-----	S
80% 以上	-----	A
70% 以上	-----	B
60% 以上	-----	C
60% 未満	-----	D

講義科目の場合、未達成項目が 2 項目以下の時は、再学習期間 (通常 1 週間) をおいて

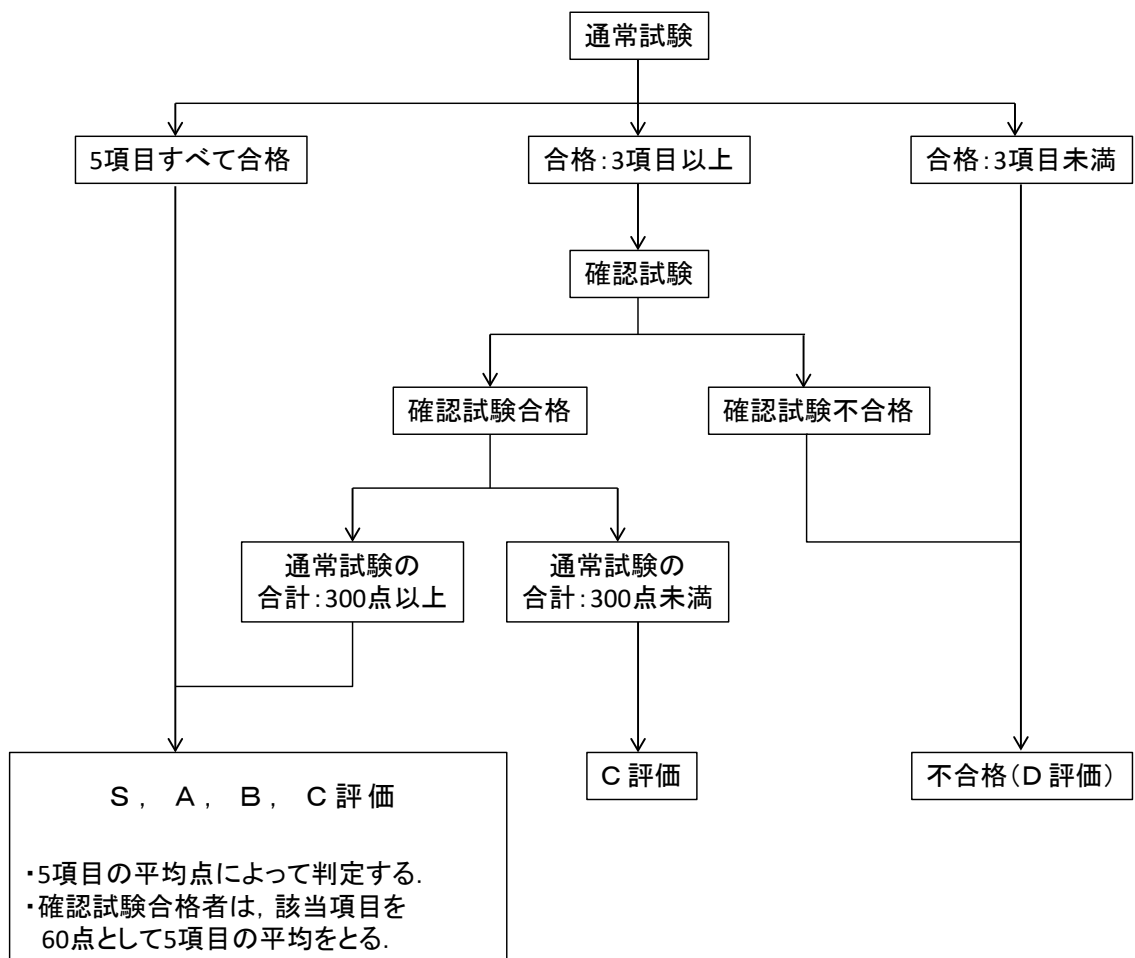
から再学習確認レポート（略称：確認レポート）の提出あるいは再学習確認試験（略称：確認試験）を実施する。その結果，未達成項目がすべて 60%以上と見なすことができれば，合格とする。

再学習確認試験を受験したものに対する成績評価は次のようにする。

- ① 再学習試験を受けた後に合格した項目の成績は 60 点とし，総合成績は 5 項目の成績の平均値によって S，A，B，C のいずれかに決定する。
- ② ただし，第 1 回試験の 5 項目の総合成績が 300 点（4 項目の場合は 240 点）未満のものは，再学習試験を受けて合格しても成績は C とする。

材料理工学コースにおける専門科目の成績評価のフローチャートを以下に示す。

成績評価フローチャート



5. 成績の総合評価とコース内での取り扱い

学生諸君の成績は，進級と卒業の要件に直接関わってくることは言うまでもない．また，結果的には就職にも大いに影響する．しかしこれらのことだけではなく，コースでは総合成績を学年の中で順位付け，優秀賞の授与や大学院入学への推薦などの事柄に総合成績を関係づけて，学生諸君の勉学の励みとなるようにしている．総合成績に関するコースでの取り決めは次表の通りである．

- ① 総合成績が 1 位の者は，日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞に推薦する．
- ② 総合成績が 2 位の者は，理工学部同窓会の北光会賞に推薦する．
- ③ 総合成績が上位 1/2 以内の成績優秀者は，理工学研究科物質科学専攻材料理工学コース博士前期課程（修士課程）の推薦入学試験の出願に際し，教授推薦を申し出ることができる．
- ④ 就職試験でのコース推薦に際して，企業指定人数以上の応募者がある場合には総合成績が上位者を優先する．

総合成績と各科目の評価の関係は次のとおりである．

教養教育科目 基礎教育科目	S…90～100点 A…80～89点 B…70～79点 C…60～69点 D…60点未満
専門教育科目	
総合成績の 評価方法	GPAによって総合評価を行う．

6. 特記事項

留学生あるいは帰国生の外国語技能試験等による英語科目の JABEE 認定について

留学生・帰国生で、国際言語科目のうち日本語関係科目を選択し、英語科目を履修しない者の JABEE 教育プログラムの修了に必要な英語の JABEE 認定は、原則として下記の秋田大学学則第 37 条に定める「外国語技能試験等に対する単位認定」⁽¹⁾ に準拠し、該当する試験結果について教授会で審議し、JABEE 認定することとする。 ※1-3)

※1 ただし、本 JABEE 認定は、JABEE プログラム基準を満たすことを認定するものであり、英語履修科目の単位として読替認定するものではない。すなわち、英語科目を修得したとみなすことに相当するものである。

※2 英語の 4 単位のみ JABEE 認定されたものは、英語科目 2 単位を履修しなければならない。

※3 本認定を申請する場合は、4 年次 4 月に必ず申し出ること。

(1) 外国語技能試験等に対する単位認定

試験の種類 \ 読替 単位数	4 単位	6 単位	認定科目
TOEFL	iBT 68～87 点	iBT 88 点以上	4 単位：大学英語 I・II（各 2 単位） 又は 英語演習 I・II（各 2 単位）
TOEIC	650～789 点	790 点以上	
			6 単位：大学英語 I・II，英会話（各 2 単位） 又は 英語演習 I・II，英会話（各 2 単位）

時 間 割 表

年度 年 第 Q(クォーター)

曜 日 時 限	月	火	水	木	金
1 ・ 2					
3 ・ 4					
5 ・ 6					
7 ・ 8					

上段には科目名，下段には教室，教員名，必修などの事項を書く．

時 間 割 表

年度 年 第 Q(クォーター)

曜日 時限	月	火	水	木	金
1 ・ 2					
3 ・ 4					
5 ・ 6					
7 ・ 8					

上段には科目名，下段には教室，教員名，必修などの事項を書く．

時 間 割 表

年度 年 第 Q(クォーター)

曜 日 時 限	月	火	水	木	金
1 ・ 2					
3 ・ 4					
5 ・ 6					
7 ・ 8					

上段には科目名，下段には教室，教員名，必修などの事項を書く．

時 間 割 表

年度 年 第 Q(クォーター)

曜 日 時 限	月	火	水	木	金
1 ・ 2					
3 ・ 4					
5 ・ 6					
7 ・ 8					

上段には科目名，下段には教室，教員名，必修などの事項を書く．